

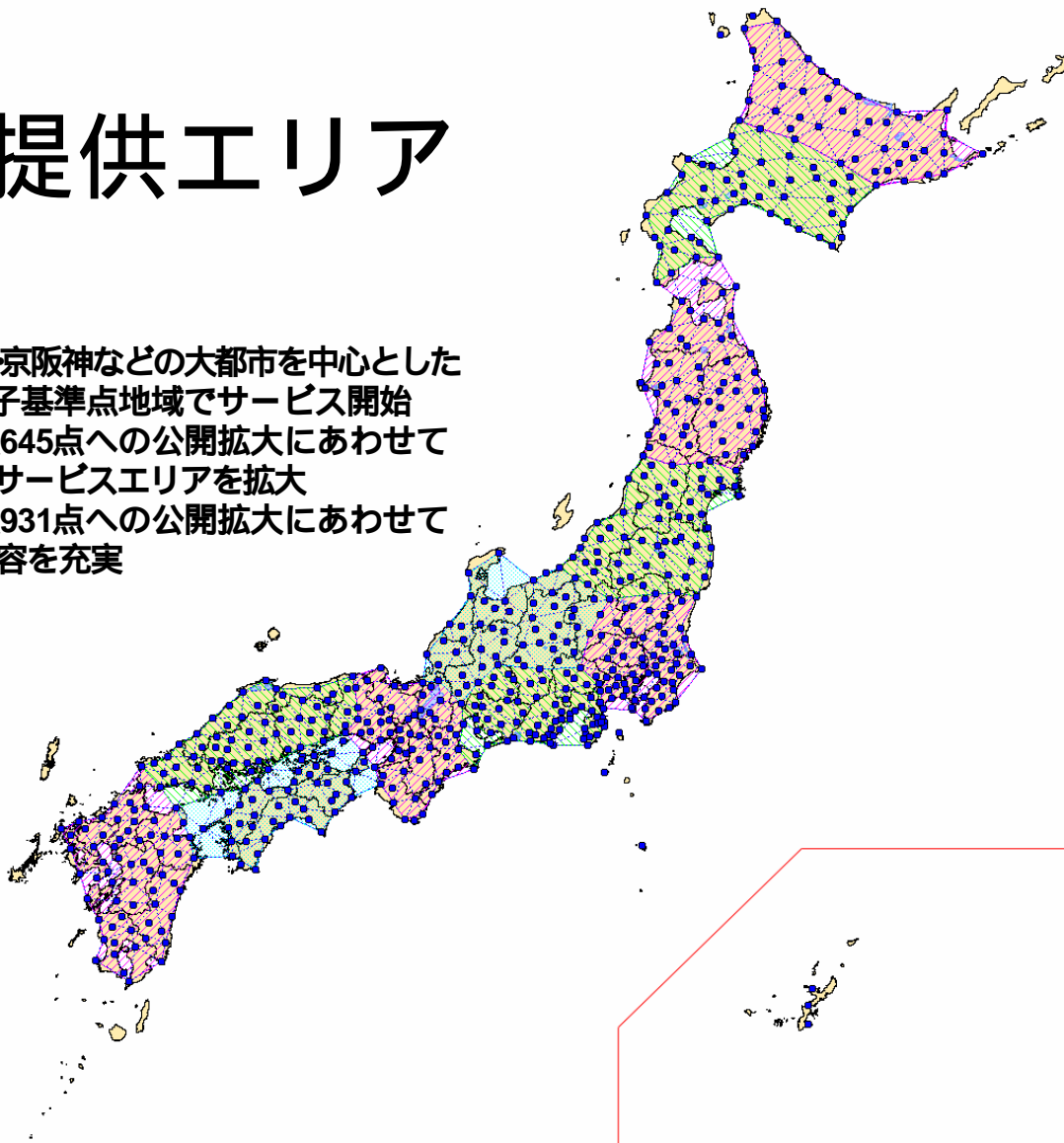
サービス提供エリア

<事業開始からの推移>

平成14年 7月 : 関東 中部 京阪神などの大都市を中心とした
200点の電子基準点地域でサービス開始

平成15年 7月 : 電子基準点645点への公開拡大にあわせて
ほぼ全国にサービスエリアを拡大

平成15年11月 : 電子基準点931点への公開拡大にあわせて
サービス内容を充実



対応機種

RTK-GPS用GPS受信機

メーカー名	機種(GPS受信機)
ニコン・トリンプル殿	5700、5800、MS750
ソキア殿	POWERGPS R310/R2、 GSR2600
ライカ ジオシステムズ殿	SR530
トプコン殿	LEGACYシリーズ、GR-2000
日本GPS ソリューションズ殿	NetSurv1000、1000L、2000



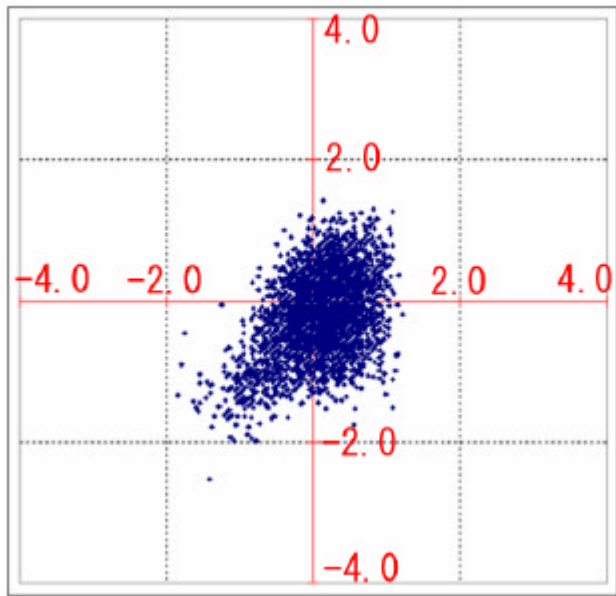
D-GPS用GPS受信機の例



精度評価例

VRSによる**RTK-GPS**

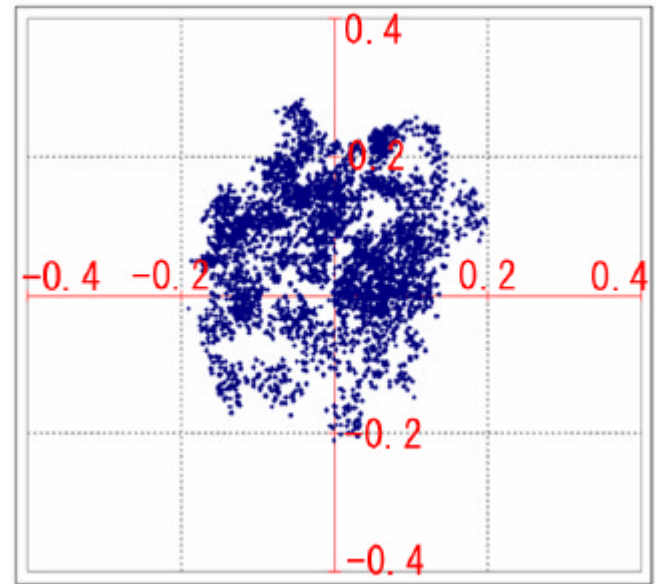
単位: **cm**



標準偏差 4mm (東西) 6mm (南北)

VRSによる**D-GPS**

単位: **m**



標準偏差 10cm (東西) 12.5cm (南北)

準天頂衛星の補完・補強サービスに対する要望

補完機能」について

- VRS測位の安定性・信頼性は、ここ数年飛躍的に向上した。
)VRSソフトウェア、GPS受信機、通信技術などの改良などによる。
- にもかかわらず「アベイラビリティ」は、GPS測位全体の最大の弱点である。
)利用可能性、一日のうちの測位可能時間。
- また、都市部においては、測量、地籍、GIS要求に対してGPS利用は現状ほとんど期待できない。
- 特に信頼性が要求される事業向けサービスの普及の点からは、これは致命的な障害ともなりうる。
- 準天頂衛星がもたらす「都市部においても期待できるプラス1個の衛星」は大変大きな意味がある。
- 公共のサービスとして無償で提供されることを期待する。

補強機能」について

- 準天頂衛星を管理運営し「補強機能」を提供する事業体は、アプリケーション分野へソリューションを提供する多くの事業者に対して、中立的な立場、公共性を持つ事業体であることを期待する。